

第18回 高岡ふしき病院地域協議会における意見を踏まえた対応状況（令和5年度）

協議会開催日	構成員の意見	対応状況
令和6年2月15日	<p>令和6年能登半島地震において、伏木地区は甚大な液状化の被害を被った。行政としても伏木地区の避難所や被災者を訪問し、保健指導に当たっていたが、傾いた家屋での生活を余儀なくされる住民は、めまいや頭痛といった健康障害が生じている方も多く見える。高岡ふしき病院にも是非力を貸して頂きたい。</p>	<p>当院からは医師（副院長）、保健師師が避難所に訪問し自主的に保健指導を行った。また、行政を通じて、地域住民へ遠慮することなく当院へ受診して頂くようお話をしている。</p> <p>なお、発災当時は当院は公的な避難所とはなっていないが、200名を超える地域住民を受け入れた。このことは、地域住民より多くの感謝の声を頂けている。</p>